

「2017年 酉年は飛躍の年」

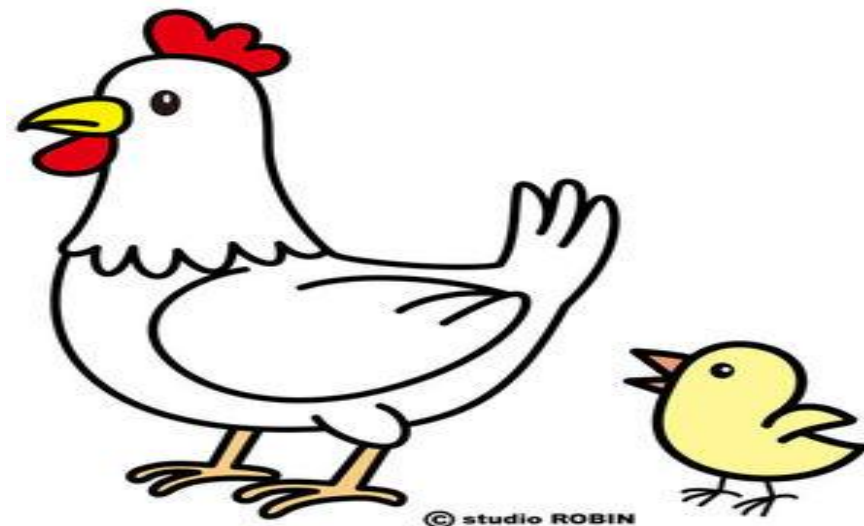
新年あけましておめでとうございます。

2016年は、年末に本校のブドウが「美味しまね認証」を受けるという歴史的な偉業で幕を閉じ、2017年は本校の「出雲コーチン」に関する課題研究の新聞記事で幕を開けました。2017年酉年のスタートを出雲農林高校の生徒が新聞の1面を飾るということは大変素晴らしいことであり、飛躍の年にふさわしいスタートとなりました。今年も出雲農林高校にとって輝かしい年になるそんな予感がしています。

今年は酉年ということで、今日はまずこの動画を見てほしいと思います。

これは、NHKの「考えるカラス～科学の考え方～」という番組のオープニングです。昨年5月に広島大学の西堀先生にきていただき、1年生に講義をしてもらいました。そのときにもコメントがありましたので覚えている人もあると思います。研究をする際に最も大切なことは、まず「観察すること」だということでした。この動画を見て、カラスとはいえ、状況を観察し、思考し、実践をするのだなあと感心をしました。

それでは皆さん、これから見せる「にわたりの絵」をよく観察してみてください。この絵には「あれ変だぞ」と思う箇所、「常識からいって変ではないが、本当にそうかなあ」と思われる箇所が3カ所あります。気がつくでしょうか。



まず1箇所目、鶏の顔、目のあたりは本当にこのようになっているでしょうか。

2箇所目は、鶏の足の指です。鶏の足の指はいったい何本でしょうか。それは種類によって同じでしょうか。

3カ所目はひよこです。ひよこは確かに黄色というイメージですが、なぜ黄色なのでしょう。本当にすべてのひよこが黄色でしょうか。

私たちが、当たり前だと思っていること、そもそも疑問にさえ思っていないことは私たちの身の回りにたくさんあるでしょう。しかし、じっくり観察をしてみると色々とおもしろいことに気づいたり、不思議に思うことはたくさんあります。

2017年、酉年を「運をとり込み」「出雲農林高校の時代の到来を告げる」そんな年になるよう、まずは我々の身の回りにあるもの、当たり前だと思っているものをもう一度しっかり観察するところからはじめましょう。考えるカラスに負けないような鋭い観察力、思考力、実践力を磨く年にしてほしいと思います。

実は「出雲コーチン」の記事には続編がありまして、1月7日の山陰中央新報によると溝口知事が出雲コーチン増産へ向け予算計上をするという記事が載っていました。君たちの取り組みが世論を動かし、知事を動かし、県を動かしているという事実は驚嘆に値するものです。

2017年「酉年」がみなさんにとって、そして出雲農林高校にとって、間違いなく「飛躍の年」になることを信じ、3学期始業式の訓話とします。